

2006. 12. 17

發行人 寿 広文

編集人 武川泰恵・藤原美紀

鳥取県西部地震展示交流センターを訪問しました

私たち資料室事務局スタッフは、12月17日に鳥取県日野町の展示交流センターを訪れました。2000年（平成12年）10月6日13時30分に最大震度6強の鳥取県西部地震が起こり、住宅の倒壊、道路等の亀裂、がけ崩れなど大きな被害がありました。地震から6年を経過した今年の10月6日、最大の被災地である日野町に被災体験から得た教訓を継承していくことを目的に「鳥取県西部地震展示交流センター」が開館しました。

JR 伯備線根雨駅前、日野町役場の隣の日野町山村開発センターの2階にあり、1 階からの階段踊り場から2階廊下にかけて、地震時の様子を伝えるがけ崩れ等の写真パネル、被害状況や復興事業のパネルなどが並んでいました。部屋に入ると、壁には写真やパネル、真ん中に仕切りを兼ねて図書コーナー、テレビ、パソコン画像を大きく写すプロジェクター、そして来館者と交流できるようサロンコーナーがありました。壁にはシルバー人材センターの方に作っていただいたという木製の板パネルが設置され、図書コーナーには小学校の壊れた木製の机を再生利用するなど、温かみを感じる展示設備となっていました。応対してくださった山下弘彦さんは、「地域の人たちがここを訪れて話をしている時に、別の方が来られて生の声で交流ができるといいと思っているんです。開館していると50年前の鳥取地震の時の話をしに来られたり、気象庁に勤めていた人から昔の地震計の話を聞いたり、いろいろな情報が得られます。」と言っておられました。



鳥取県西部地震とその被害の概要

1 発生時刻及び震源地

平成12年10月6日 午後1時30分

鳥取県西伯郡西伯町～日野郡溝口町付近

(北緯 35.3° 東經 133.4°)

2 規 模

マグニチュード 7.3

最大震度6強(境港市・日野郡日野町)

3 被害の状況 (1月12日までの間の最大値)

●負債者 106人(重傷30人,輕傷76人)

●住民の理解

1日当たりの避難人員最大値 2,703人

(各市町村の避難人員最大値計 3,031人)

●住家の損壊(1月12日現在)

全 級 373 戶

半 壞 2,341戶

一部破損 12,107戸

4 救援活動(のべ人員:1月5日現在)

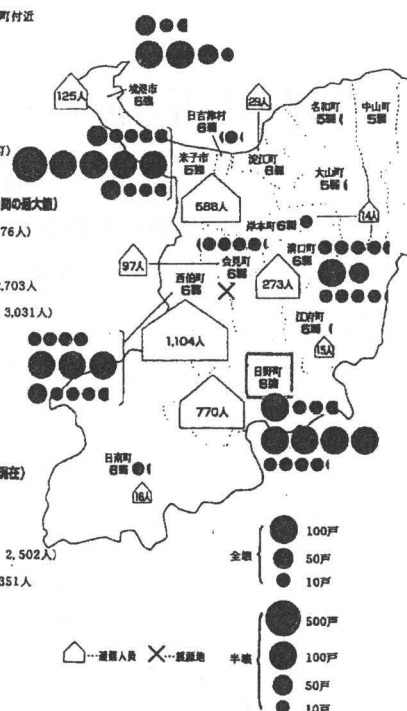
●自衛隊 1,546人

●消防職員・消防団員 3,908人

(消防署員 1,406人、消防団員 2,502人)

●ボランティア(1月7日現在) 5,351人

(うち県外者 1,900人)



私たちも開館された記事にひかれて訪問させていただいたのですが、お話を聞いているとあっという間に時間が過ぎ、帰神時間となりました。新たな交流が生まれ、私たちの今後の展示にも大いに参考となりました。(藤原美紀)

山下さんは米子で地震に遭い、その1ヶ月後から災害ボランティアで日野町に入り、その後、現在のように活動をされている。今も超高齢化となっている日野町で70歳以上の方へ誕生日訪問など、地域のコミュニティの大切な繋ぎ手となっておられる。ただ、災害時にコミュニティからもれる人がでてくることを心配されていて、優しい感じの青年でした。

